

高圧ガス設備試験  
申請書内容記載方法書

[機-50302B-2]

高圧ガス保安協会



# 高圧ガス設備試験 申請書内容記載方法書 [機-50302B-2]

## 1 適用範囲

この方法書は、高圧ガス設備試験マニュアル [機-50302]（以下「マニュアル」という。）  
5.2 申請書の記載方法に定めるマニュアル様式 1 別添 1 高圧ガス設備試験申請書内容の記載の方法について適用する。

## 2 マニュアル様式 1 別添 1 の記載方法

マニュアル様式 1 別添 1 の各項目の記載は、別表左欄に掲げる項目に応じ、同表中欄及び右欄に掲げる記載方法及び記載例によるものとする。なお、記載例及び記載例で引用している参考例は、記載の例を示すものであり、使用材料、非破壊試験の要否、機器の形状及び構成等の適切性を示すものではない。

## 3 その他注意事項

申請書をワープロで作成する場合は、様式番号及び様式の枠外の備考を記載する必要はない。

「製造者の名称」、「設計圧力」等の名称又は数値が、左欄と右欄で同じ場合は、右欄は「同左」としてもよい。

附則 この方法書は、平成 20 年 5 月 1 日から施行する。

附則 この改正は、平成 28 年 12 月 21 日から施行する。

附則 この改正は、令和元年 5 月 1 日から施行する。

## 別表

## マニュアル様式1別添1の記載方法

項目	記載方法	記載例										
「試験を受けようとする者の名称」欄及び「事業所所在地」欄の記載方法は、機-50302-Aの別表によること。												
[1] 構成機器番号	(1) 構成される機器毎に、原則としてフローの順序に記載する。 (2) 構成機器番号は、添付されるフローシート又は全体組立図に記載される番号又は記号を記載する。 (3) 同一機器仕様（設計条件、構造・寸法、材質等すべてが同一のものをいう。）の機器が複数ある場合は「品名・型式」「機器番号（基数）」欄に機器番号及び基数を記載する。 (4) 管類の場合は、原則として機器から機器までの配管を一単位とする。ただし、品名・型式、規定最小肉厚、及び機器の処理容積（呼び径、外径又は内径）以外の項目が同一の場合、機器の処理容積等欄に複数の口径を記載し、一単位とすることができる。	例1：構成機器が番号で表示される場合（フローの順序） <table border="1" data-bbox="1240 555 2114 603"> <tr> <td>構成機器番号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> </table> 例2：構成機器が記号等で表示されている場合（フローの順序） <table border="1" data-bbox="1240 689 2114 737"> <tr> <td>構成機器番号</td> <td>E-110</td> <td>V-119</td> <td>F-321</td> <td>P-210</td> </tr> </table>	構成機器番号	①	②	③	④	構成機器番号	E-110	V-119	F-321	P-210
構成機器番号	①	②	③	④								
構成機器番号	E-110	V-119	F-321	P-210								

<p>[2] 製造者の名称 (国名)</p>	<p>各構成機器を製造した者の会社名（事業所の名称を含む。）を記載する。この場合、M 管類にあっては素管の製造者ではなく、配管組立作業を施工した者とする。</p> <p>(1) 製造者が国内の場合は国名を記載する必要はない。</p> <p>(2) 製造者が国外の場合はその国名を（ ）内に記載する。</p>	<p>例1：国内で製造した場合</p> <table border="1" data-bbox="1243 225 2112 277"> <tr> <td>製造者の名称（国名）</td> <td>高圧ガス株式会社 町田事業所</td> </tr> </table> <p>例2：海外で製造した場合</p> <table border="1" data-bbox="1243 331 2112 375"> <tr> <td>製造者の名称（国名）</td> <td>ABC Co., Ltd. (英国)</td> </tr> </table>	製造者の名称（国名）	高圧ガス株式会社 町田事業所	製造者の名称（国名）	ABC Co., Ltd. (英国)
製造者の名称（国名）	高圧ガス株式会社 町田事業所					
製造者の名称（国名）	ABC Co., Ltd. (英国)					
<p>[3] 受験場所</p>	<p>当該設備の試験を実施する場所（会社名及び事業所名）を記載する。ただし、次に掲げるものにあつては、それぞれの場所を記載する。</p> <p>(1) 特定設備にあっては、検査を受けた者の名称</p> <p>(2) 別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあっては、その機器の試験を実施した事業所又は工場名（高圧ガス設備試験成績証明書の試験実施場所欄に記載された場所）</p> <p>(3) 認定試験者試験等成績書を有する機器（以下「認定品」という。）にあっては、その認定試験者名</p>	<table border="1" data-bbox="1243 643 2112 710"> <tr> <td>受 験 場 所</td> <td>高圧ガス株式会社 町田工場</td> </tr> </table>	受 験 場 所	高圧ガス株式会社 町田工場		
受 験 場 所	高圧ガス株式会社 町田工場					

<p>[4] 試験希望年月日</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては空欄又は高圧ガス設備試験申請書に記載した希望日を記載する。</p> <p>(2) 特定設備にあつては、特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証（以下「特定設備検査合格証等」という。）の発行日を記載する。申請時に未実施又は未確認の場合にあつては空欄とする。</p> <p>(3) 別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、当該機器の高圧ガス設備試験成績証明書に記された試験実施年月日を記載する。申請時に未実施又は未確認の場合にあつては空欄とする。</p> <p>(4) 認定品にあつては、当該機器の認定試験者試験等成績書に記載された試験等実施年月日を記載する。申請時に未実施又は未確認の場合にあつては空欄とする。</p>			
<p>[5] 機器の種類</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては、マニュアル3機器の種類の表に定める区分及び機器の種類を記載する。</p> <p>(2) 認定品にあつては、高圧ガス設備認定試験者試験等成績書、別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、高圧ガス設備試験成績証明書に記載された機器の種類を記載する。</p> <p>(3) 特定設備にあつては、特定設備検査合格証等の区分及び種別（第一種特定設備にあつては「S1」、第二種特定設備にあつては「S2」と表記することができる。）を記載する。</p>	<p>例：特定設備の区分が熱交換器であつて、種別が第一種特定設備の場合</p> <table border="1" data-bbox="1243 817 2096 885"> <tr> <td data-bbox="1243 817 1624 885">機器の種類</td> <td data-bbox="1624 817 2096 885">熱交換器 S1</td> </tr> </table>	機器の種類	熱交換器 S1
機器の種類	熱交換器 S1			

<p>[6] 品名・型式 [機器番号(基数)]</p>	<p>(1) 品名は、機器の名称を記載する。                  ① 機器名称は、原則として機-50302A 附属書の「機器の種類及び名称」に基づき記載する。                  ② 特定設備にあつては、特定設備の品名、機器番号を記載する。                  ③ 認定品又は別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、認定試験者試験等成績書又は高圧ガス設備試験成績証明書に記された品名・型式、機器番号を記載する。</p> <p>(2) 型式は、原則として申請者による型式名称又は型式番号を記載する。</p> <p>(3) 機器番号は、検査記録と照合ができるものとする。</p>	<p>例：第一種特定設備の圧力容器と高圧ガス設備の圧力容器類の場合</p> <table border="1" data-bbox="1243 225 2145 416"> <tr> <td>機器の種類</td> <td>その他の圧力容器 S1</td> <td>E その他の圧力容器類</td> </tr> <tr> <td>品名・型式 [機器番号(基数)]</td> <td>第一セパレータ・SP1 [S-101 (1基)]</td> <td>第二セパレータ・SP2 [S-201 (1基)]</td> </tr> </table>	機器の種類	その他の圧力容器 S1	E その他の圧力容器類	品名・型式 [機器番号(基数)]	第一セパレータ・SP1 [S-101 (1基)]	第二セパレータ・SP2 [S-201 (1基)]
機器の種類	その他の圧力容器 S1	E その他の圧力容器類						
品名・型式 [機器番号(基数)]	第一セパレータ・SP1 [S-101 (1基)]	第二セパレータ・SP2 [S-201 (1基)]						
<p>[7] 設計圧力及び 設計温度</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては、機-50302A の別表による。</p> <p>(2) 認定品又は別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、認定試験者試験等成績書又は高圧ガス設備試験成績証明書に記された値を記載する。</p> <p>(3) 特定設備にあつては、特定設備検査合格証等に記された値を記載する。</p>	<p>_____</p>						
<p>[8] 規定最小肉厚</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては、機-50302A の別表による。</p> <p>(2) 認定品又は別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、「認定試験者試験等成績書による」又は「高圧ガス設備試験成績証明書による」と記載する。</p> <p>(3) 特定設備にあつては、「特定設備検査による」と記載する。</p> <p>注) 高圧ガス設備試験成績証明書内容にも「認定試験者等成績書による」等と記載される。</p>	<p>_____</p>						

<p>[ 9 ]</p> <p>機器の処理容積等</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては、機-50302Aの別表による。</p> <p>(2) 認定品又は別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、認定試験者試験等成績書又は高圧ガス設備試験成績証明書に記された機器の処理容積等を記載する。</p> <p>(3) 特定設備にあつては、特定設備検査合格証等に記された内容積 (m<sup>3</sup>) を記載する。</p>	<p>_____</p>
<p>[ 1 0 ]</p> <p>主要部材質から非破壊検査まで</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては、機-50302Aの別表による。</p> <p>(2) 認定品又は別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、「認定試験者試験等成績書による」又は「高圧ガス設備試験成績証明書による」と記載する。</p> <p>(3) 特定設備にあつては、「特定設備検査による」と記載する。</p> <p>注) 高圧ガス設備試験成績証明書内容にも「認定試験者試験等成績書による」等と記載される。</p>	<p>_____</p>
<p>[ 1 1 ]</p> <p>高圧ガスの種類 (名称)</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては、機-50302Aの別表による。</p> <p>(2) 認定品又は別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、認定試験者試験等成績書又は高圧ガス設備試験成績証明書に記された高圧ガスの種類を記載する。</p> <p>(3) 特定設備にあつては、特定設備検査合格証等に記された製造をする高圧ガスの種類を記載する。</p>	<p>_____</p>

<p>[12] 備考</p>	<p>(1) 受験対象機器にあつては、機-50302Aの別表の[18]備考(2)から(6)による。</p> <p>(2) 認定品、別に高圧ガス設備試験を受験した機器又は特定設備にあつては、次による。</p> <p>①特定設備にあつては、特定設備検査合格証等の発行番号を記載する。ただし、申請時に特定設備検査合格証等を受領していないときは、整理番号を記載する。</p> <p>②別に高圧ガス設備試験を受験した機器にあつては、高圧ガス設備試験成績証明書の発行番号を記載する。ただし、申請時に高圧ガス設備試験成績証明書を受理していないときは、整理番号を記載する。</p> <p>③認定品にあつては、認定試験者試験等成績書の認定番号及び成績書番号を記載する。ただし、認定試験者試験等成績書が未入手のときは認定番号を記載する。</p> <p>(3) 構成機器の一部に特認・評価基準等に基づくものがある場合にあつては、当該機器の備考欄に①から④までのいずれかに該当するものを記載する。</p> <p>①一般則で特認に基づく場合 一般則第99条適用 (XXXXXXX 商第XX号 平成XX年XX月XX日認可)</p> <p>②事前評価に基づく場合 詳細基準事前評価適用 (XX 高機第XX号平成XX年XX月XX日認可)</p> <p>③公開事前評価に基づく場合 公開詳細基準事前評価適用 (XX 高機第XX号平成XX年XX月XX日認可)</p> <p>④一般詳細基準に基づく場合 一般詳細基準適用 (XX 高高第XX号平成XX年XX月XX日認可)</p> <p>注) 備考の内容は、高圧ガス設備試験成績証明書内容にも記載される。</p>	<p>例1：特定設備であつて、特定設備検査合格証を受領している場合</p> <table border="1" data-bbox="1240 225 2078 293"> <tr> <td>備</td> <td>考</td> <td>合格証番号：20東1031</td> </tr> </table> <p>例2：特定設備であつて、特定設備検査合格証を受領していない場合</p> <table border="1" data-bbox="1240 363 2078 432"> <tr> <td>備</td> <td>考</td> <td>整理番号：1034</td> </tr> </table> <p>例3：別に高圧ガス設備試験を受験した機器であつて、高圧ガス設備試験成績証明書を受理している場合</p> <table border="1" data-bbox="1240 539 2078 608"> <tr> <td>備</td> <td>考</td> <td>成績証明書番号：20東N-1122</td> </tr> </table> <p>例4：別に高圧ガス設備試験を受験した機器であつて、高圧ガス設備試験成績証明書を受理していない場合</p> <table border="1" data-bbox="1240 699 2078 767"> <tr> <td>備</td> <td>考</td> <td>整理番号：XXXX</td> </tr> </table> <p>例5：認定品であつて、認定試験者試験等成績書を受領している場合</p> <table border="1" data-bbox="1240 826 2078 932"> <tr> <td>備</td> <td>考</td> <td>認定番号：MAB-000-N-00 成績書番号：D1111</td> </tr> </table>	備	考	合格証番号：20東1031	備	考	整理番号：1034	備	考	成績証明書番号：20東N-1122	備	考	整理番号：XXXX	備	考	認定番号：MAB-000-N-00 成績書番号：D1111
備	考	合格証番号：20東1031															
備	考	整理番号：1034															
備	考	成績証明書番号：20東N-1122															
備	考	整理番号：XXXX															
備	考	認定番号：MAB-000-N-00 成績書番号：D1111															

## 参考例 1

## 高圧ガス設備試験申請書内容 (1/1)

整理番号		受理年月日	
試験を受けようとする者の名称 (事業所の名称を含む)	高圧工業株式会社 千葉事業所		
事業所所在地 (電話番号)	千葉県〇〇市〇〇区〇〇1-2-3 (043-123-4567)		

構成機器番号	S-1	V-1	E-11		L-1	SV-1	
製造者の名称 (国名)	高圧工業(株) 千葉事業所	高圧工業(株) 千葉事業所	ABC Co., Ltd (英国)		高圧工業(株) 千葉事業所	町田バルブ(株)	
受験場所	高圧工業(株) 千葉事業所	高圧工業(株) 千葉事業所	高圧工業(株) 千葉事業所		高圧工業(株) 千葉事業所	町田バルブ(株)	
試験希望年月日						平成19年7月23日	
機器の種類	○その他の附属機器類	N 弁類	B 熱交換器		M 管類	N 弁類	
品名・型式 [機器番号(基数)]	攪拌機・IIT-30型 [7608(1基)]	仕切弁・ウェッジ形 11-2[V-1, V-2(2基)]	二重管式熱交換器・DT型 [E-11 (1基)]		15 A (P-C01-1) 25 A (P-C01-2)	安全弁・SVA11-SSF [SV-01 (1基)]	
機器仕様	設計圧力	1.85 MPa	1.85 MPa	内管側 1.85 MPa	外管側 (0.1 MPa)	1.85 MPa	1.85 MPa
	設計温度	100 °C	100 °C	100 °C	(50 °C)	100 °C	100 °C
	規定最小肉厚	アダプターa部 3.5 mm (腐れ代0mm)	ボディ a部3.0mm (腐れ代0mm)	直管部 3.2 mm (腐れ代0mm)	(直管部 2.5 mm (腐れ代0 mm))	直管部 15A 1.2 mm (腐れ代0 mm) 25A 1.5 mm (腐れ代0 mm)	高圧ガス設備試験成績証明書による
	機器の処理容積等	内容積 0.5 ℓ 呼び径 25 A	呼び径 25 A	内容積 0.8 ℓ	(内容積 1.5 ℓ)	呼び径 15A 25A	呼び径 15A
試験の種類	主要部材質	アダプターa部 JIS G 4303 SUS316	ボディ a部 JIS G 4303 SUS316	直管部 ASTM A276 S31600 (JISG4303 SUS316 同等材)	(直管部 ASTM A276 S31600 (JISG4303 SUS316 同等材))	直管部 JIS G 3459 SUS316TP-S	高圧ガス設備試験成績証明書による
	耐圧試験	2.32 MPa	2.78 MPa	2.78 MPa	(0.15 MPa)	2.78 MPa	高圧ガス設備試験成績証明書による
	気密試験	1.85 MPa	1.85 MPa	1.85 MPa	(-)	1.85 MPa	高圧ガス設備試験成績証明書による
	肉厚の確認方法	強度計算	強度計算	強度計算	(-)	強度計算	高圧ガス設備試験成績証明書による
	非破壊検査	RT 100%	-	-	(-)	-	高圧ガス設備試験成績証明書による
高圧ガスの種類(名称)	毒・燃・特殊以外のガス	毒・燃・特殊以外のガス	毒・燃・特殊以外のガス	(冷却水)	毒・燃・特殊以外のガス	毒・燃・特殊以外のガス	
備考	気体耐圧試験実施					成績証明書番号: 19東N-1234	

## 参考例 2

## 高圧ガス設備試験申請書内容 (2/3)

整理番号		受理年月日	
試験を受けようとする者の名称 (事業所の名称を含む)	株式会社土岐高圧		
事業所所在地 (電話番号)	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇1-2-3 (012-456-7890)		

構成機器番号	C-7	C-8	C-9	C-10	C-11	C-12	
製造者の名称 (国名)	(株)土岐高圧	(株)相生バルブ	(株)土岐高圧	(株)土岐高圧	(株)土岐高圧	(株)土岐高圧	
受験場所	(株)土岐高圧	(株)相生バルブ	(株)土岐高圧	(株)土岐高圧	(株)土岐高圧	(株)土岐高圧	
試験希望年月日	平成19年10月31日	平成19年7月25日					
機器の種類	その他の圧力容器 S1	N 弁類	N-Ⅱ 継手類	N-Ⅱ 継手類	M 管類	M 管類	
品名・型式 [機器番号 (基数)]	セパレータ・SP1 [S-101(1基)]	玉形弁・NT-1型 [1073, 1074(2基)]	袋ナットスリーブ・ 小口径高圧用管継手型式 (スリーブ側) [SP-333(1基)]	袋ナットスリーブ・ 小口径高圧用管継手型式 (スリーブ側) [SP-334(1基)]	高温ライン [SP-333(1基)]	低温ライン [SP-334(1基)]	
機器仕様	設計圧力	15 MPa	15 MPa	15 MPa	15 MPa	15 MPa	
	設計温度	200 °C	200 °C	200 °C	40 °C	200 °C	
	規定最小肉厚	特定設備検査による	認定試験者試験等成績書 による	スリーブ 0.42mm (腐れ代 0mm)	スリーブ 1.50 mm (腐れ代 0mm)	パイプ 0.52 mm (腐れ代 0 mm)	パイプ 0.35 mm (腐れ代 0mm)
	機器の処理容積等	0.1 m <sup>3</sup>	内径 3 mm	内径 3 mm	内径 3 mm	外径 6.35 mm	外径 6.35 mm
試験の種類	主要部材質	特定設備検査による	認定試験者試験等成績書 による	スリーブ ASME SB-574 UNS No. N10276	スリーブ JIS G 4303 SUS316	パイプ JIS G 3459 SUS316TP-S	パイプ JIS G 3459 SUS316TP-S
	耐圧試験			22.5 MPa	22.5 MPa	22.5 MPa	22.5 MPa
	気密試験			15 MPa	15 MPa	15 MPa	15 MPa
	肉厚の確認方法			強度計算	強度計算	強度計算	強度計算
	非破壊検査			—	—	—	—
高圧ガスの種類 (名称)	毒性ガス	毒性ガス	毒性ガス	毒性ガス	毒性ガス	毒性ガス	
備考	合格証番号： 19東1234	認定番号：MAB-123-N-2 成績書番号：3333					

## 参考例 3

## 高圧ガス設備試験申請書内容 (1/1)

整理番号		受理年月日	
試験を受けようとする者の名称 (事業所の名称を含む)	高圧ガス(株) 神谷町工場		
事業所所在地 (電話番号)	東京都港区〇〇1-2-3 (03-1234-5678)		

構成機器番号	①	②	③	④	
製造者の名称 (国名)	高圧ガス(株) 神谷町工場	高圧ガス(株) 神谷町工場	高圧工業(株) 千葉事業所	高圧工業(株) 千葉事業所	
受験場所	高圧ガス(株) 神谷町工場	高圧ガス(株) 神谷町工場	高圧工業(株) 千葉事業所	高圧工業(株) 千葉事業所	
試験希望年月日					
機器の種類	N 弁類	N-Ⅲ 継手類	N-Ⅲ 継手類	M 管類	
品名・型式 [機器番号 (基数)]	玉形弁・BV1 [7608 (1基)]	コーン・スレッド型式 (本体側) [V-1, V-2 (2基)]	コーン・スレッド型式 (グランドナット側) [V-3, V-4 (2基)]	高圧配管 [123, 234 (2基)]	
機器仕様	設計圧力	98 MPa	98 MPa	98 MPa	
	設計温度	-40~+50 °C	-40~+50 °C	-40~+50 °C	
	規定最小肉厚	バルブボディ 10.0mm (腐れ代0mm)	シール部 6.5mm (腐れ代0mm)	—	直管部 4.6mm (腐れ代0mm)
	機器の処理容積等	外径 14.3 mm	外径 14.3 mm	外径 14.3 mm	外径 14.3 mm
試験の種類	主要部材質	バルブボディ JIS G 4303 SUS316	シール部 JIS G 4303 SUS316	グランドナット JIS G 4303 SUS316	直管部 JIS G 3459 SUS316TP-S
	耐圧試験	147 MPa	147 MPa	147 MPa	147 MPa
	気密試験	98 MPa	98 MPa	98 MPa	98 MPa
	肉厚の確認方法	強度計算	強度計算	強度計算	強度計算
	非破壊検査	—	—	—	—
高圧ガスの種類 (名称)	可燃性ガス	可燃性ガス	可燃性ガス	可燃性ガス	
備考					